

きゅうほく しょうあんきょう

発行事務局

〒 801 - 0852 北九州市門司区港町 7-8
郵船ビル 2 階

TEL (093) 332-3578 FAX (093) 332-3579

メールアドレス 9hoku@kyu-shoankyo.or.jp



(公社)九州北部小型船安全協会

平成二十八年度の新春を迎えお慶び申し上げます。

皆様には平素より当協会の事業に対して格別のご尽力を頂き感謝申し上げます。また、第七管区海上保安本部を始め関係官庁、関係団体の皆様には格別のご支援を賜り厚くお礼申し上げます。

今冬は、例年にならない気象状況で全国的に記録的な大雪のニュース報道が連日流れています。九州・山口の全域も一月二十四・二十五日と雪や強風による交通の乱れや事故が相次ぎ水道管の凍結の被害も各地で出ているとのことです。

さて、二十七年度の事業に関しましては、取り組む諸事業もほぼ順調に進み成果も見られているところでございます。

第七管区海上保安本部等多くの関係機関のご支援、各地区の小型船安全協会役員及び海上安全指導員の皆様の献身的な協力のお蔭でプレジャーボートの安全確保のための指導啓蒙事業を当初の計画通り遂行することができましたこと大変感謝いたしております。

しかし一方では、高齢化が進み会員の減少という重要な問題も抱えており、魅力ある協会とはどのような協会にするべきか今後さらに検討を重ねて、プレジャーボート運航者の方々にアピールできる場を持ちたいと考えております。

また、賛助会員の皆様方には、当協会の活動は地味な活動かも知れませんが、今後ともご理解ご協力の程よろしくお願い申し上げます。

結びに、皆様のご安全とご健康を祈念し、合わせ自治体、企業等賛助会員の皆様方のご協力があり、当協会が支えられていますことに深く感謝申し上げます。新年の挨拶いたします。



会長挨拶

公益社団法人

九州北部小型船安全協会

会長 中西定美



年頭挨拶

第七管区海上保安本部

本部長 船越良行

平成二十八年の新春を迎え、謹んでご挨拶を申し上げます。九州北部小型船安全協会の会員の皆様、関係者の皆様におかれましては、健やかに新春をお迎えのことと心よりお慶び申し上げます。

平成二十七年は、平成二十六年に七管区内で発生した海難が減少に転じたことを受け、特に小型船舶の海難減少を促進させるべく、海上安全指導員の皆様との合同パトロール、九州北部小型船安全協会主催の海難防止講習会の開催など、皆様の多大なご協力のもと海難防止啓発活動を推進してまいりました。

その結果、平成二十七年の海難発生隻数は三百七十隻（速報値）で、平成二十六年の三百八十五隻から十五隻減少させることができ、特にプレジャーボートにあっては百二十九隻で、過去十年間で初めて百三十隻を下回りました。これは、正に九州北部小型船安全協会及び関係者の皆様方が第七管区海上保安本部と連携して海難防止啓発活動にご尽力頂いた成果であると考えております。改めて御礼申し上げる次第です。

平成二十八年にあっては、この海難減少の勢いを更に加速させるため、これまで以上に皆様との連携を強化し、合同パトロールや海難防止講習会をはじめとする海難防止啓発活動に、より一層力を入れて取り組む所存です。

また、平成二十七年九月、長崎県対馬東方沖で竜巻と思われる突風により漁船五隻が相次いで転覆し、五名もの尊い命が奪われるという事案が発生したことはご記憶に新しいことと思えます。このため第七管区海上保安本部では、全国に先駆け、管区气象台、地方自治体、漁業無線局、漁業協同組合等と連携して竜巻に関する情報提供体制を構築し、竜巻の目撃情報をいち早く

海上の船舶に伝達するといった試みを本年三月から開始しました。

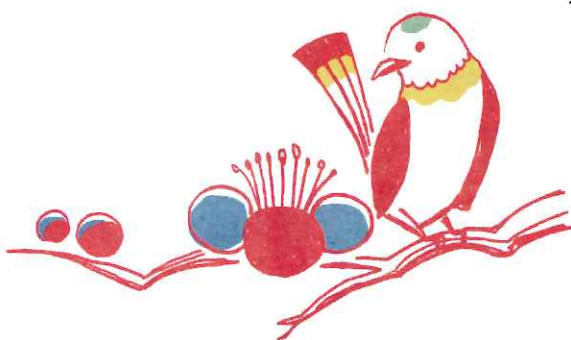
具体的には、海上において漁船等が竜巻を目撃した場合、その情報を当本部内に新たに設置した「竜巻目撃ダイヤル〇九三―三三二―一八七」などに通報して頂き、その情報を「沿岸域情報システム(MICS)」や漁業無線等により海上にいる船舶に幅広く情報提供し、竜巻による海難を未然に防止しようという取り組みです。この取り組みについては、まず長崎県を中心とした海域で漁業者を主体として実施致しますが、順次他県の関係団体とも連携し、七管区内の海にかかわる全ての関係者が竜巻の目撃情報を共有し、事故の未然防止に繋げていくことを目指しております。

従いまして、漁船に限らず海上にいる船舶が竜巻を目撃した場合は、自らの身を守るための行動を取っていただくことはもちろんですが、この「竜巻目撃ダイヤル」などへの目撃情報の提供についても積極的にご協力頂きたいと考えております。

これら竜巻情報の取り扱いを含め、第七管区海上保安本部では、引き続き九州北部小型船安全協会及び関係者の皆様方と一致協力して、プレジャーボート愛好家の皆様自らが安全運航に関する意識の向上を図って頂けるような啓発活動を

粘り強く実施するとともに、皆様のプレジャーボートライフがより楽しいものになるよう安全・安心な航行環境の整備・充実を目指してまいります。

結びに、新しい年が会員及び関係者の方々にとりまして希望に満ちた、大いなる発展の年になりますことを祈念いたしまして、ご挨拶とさせていただきます。



今年度の主な事業・行事実施状況

平成二十七年通常総会報告

平成二十七年五月二十八日に平成二十七年通常総会がステーションホテル小倉で開催されました。

議事は、次のとおりです。

- (1) 平成二十六年事業報告について
- (2) 平成二十六年度収支決算報告及監査報告について
- (3) 役員選出(案)について
- (4) 定款の一部改正(案)について
- (5) その他

・平成二十八年度日本財団への助成金の申請について

・議事録署名人の選出について

以上5項目について審議されすべて異議なく承認されました。

唐津の増本理事の後任にNPO法人唐津玄海小型船安全協会理事長 吉永啓次郎氏が新理事として承認されました。平成二十七年三月二十六日に開催されました第三回理事会で承認されました。二十七年事業計画及び収支予算書について、事務局長より報告がなされました。

関係団体・賛助会員の皆様・そして会員の皆様、ご出席頂きましてありがとうございました。

日本財団助成事業

安全講習会

五月三十一日

津久見地区小安協

津久見市民会館で開催された。

講師として、七管本部、大分海上保安部津久見分室より講習をして頂き、また、民間講師として、東洋物産(株)陣内氏を招き「ライフジャケットのメンテナンス及び新基準対応のライフジャケットについて」を講習して頂いた。

六月二十八日

豊前海小安協

中津市工業団地協同組合会議室で開催された。

講師として、七管本部、大分海上保安部から「発航前点検の徹底について」、「MISCについて」、主任海上安全指導員の田口氏より「小型船舶の航行について」を講習して頂いた。

七月十日

長崎小安協

長崎市港湾合同庁舎会議室で開催された。

講師として、七管本部、長崎海上保安部から「発航前点検」、「管内等の事故事例」、民間講師として(株)ヤマハマリン西九州山口氏を招き、「定期点検について」を講習して頂いた。

七月十一日

芦屋地区小安協

芦屋総合体育館会議室で開催された。

講師として、七管本部及び若松海上保安部から「発航前点検の徹底について」、「最近の海難の事例について」を講習して頂いた。

十一月十四日

有明海小安協

大川コミュニティセンターで開催された。

講師として、七管本部、三池海上保安部から「海難の発生状況と海難事例紹介他」を講習して頂いた。

十一月二十五日

佐世保小安協

九十九島ビジターセンターで開催された。

講師として、七管本部から「海難の発生状況と海難の事例紹介」、佐世保海上保安部から「安全の種まき(3たね)」を講習して頂いた。

今年度の主な事業・行事実施状況

二月二十一日
伊万里湾小安協

伊万里市民センター会議室で開催された。講師として、七管本部から「海難の状況と発航前点検等について」、伊万里海上保安署から「伊万里海上保安署管内の海難の事例について」を講習して頂いた。

三月六日
関門小安協

門司港合同庁舎会議室で開催された。講師として、七管本部から「海難の状況と発航前点検等について」、門司海上保安部から「門司海上保安部管内の小型船の海難について」を講習して頂いた。

実技講習会

六月二十一日

福岡地区小安協

福岡港湾合同庁舎会議室で開催された。実技講習の座学講習として、七管本部から「海難の発生状況」、福岡海上保安部から「小型船の曳航作業について」、実技として、「巡視艇いとしま」に移動し、「近距離もやい銃発射訓練」、「曳航ペンダント制作訓練」、「巡視艇いとしま船橋内部の見学」を実施した。

十月二十五日

萩地区小安協

マリナー萩いきいき交流センターで開催された。講師として、七管本部から「プレジャーボートの安全運航について・発航前点検の徹底」を講習して頂いた。また、「心肺蘇生法について」、七管本部・萩海上保安署から実技も兼ねて講習をして頂いた。



曳航船と被曳航船との間に簡易ペンダントを使用しての曳航方法実習



座学講習の様子



近距離もやい銃発射展示訓練



実技講習 AED の講習

今年度の主な事業・行事実施状況

安全活動

海上安全合同パトロール

海上安全合同パトロールを各保安部署のご協力を得て役員立合いのもと各地区で実施した。

パトロールの目的は、プレジャーボート等運航者の海難防止思想の普及及び安全運航指導です。

海上安全指導員とともに海上保安部職員が安全パトロール艇へ乗船し、パンフレットを配布するとともに安全運航の呼びかけを行います。



たも網を使ってパンフレット配布



海上安全指導員さん お疲れ様です

十一月十九日

海上安全指導員連絡調整会議

各地区の海上安全指導員の代表を集めて、北九州市のステーションホテル小倉で開催した。

七管本部交通部山口企画調整官をはじめ、安全課の方々にもご出席を頂いた。

活動における問題点・海上安全指導員の世代交代の指導方法等をテーマに会議が進められた。各地区指導員とのコミュニケーションの場としても有意義な会議であった。



七管本部 山口企画調整官 挨拶



福田副会長 挨拶

今年度の主な事業・行事实施状況

海事普及活動

七月十九日

関門地区小安協 関門ボート天国

関門港で開催されたボート天国に企画し、会場・水辺警備を担当したほか、毎年恒例となっているプレジャーボートの無料体験乗船。乗船者は、二百名だった。



体験乗船の様子



ライフジャケット着用！出発準備 OK！

十月十八日

芦屋地区小安協 サンライズフェスタ 2015

遠賀郡芦屋町にある芦屋競艇場で行われている「サンライズフェスタ 2015」に芦屋小安協が企画し、小中学生及び父母の海に対する基本的知識の向上を図るため、若松海上保安部のご協力により、親子安全教室、PW安全協会のご支援を頂いて水上オートバイの体験試乗、海上保安庁のキャラクターである「うみまる君」との記念撮影、海上保安庁・小型船安全協会の活動状況のパネル展示を行った。



浮くっちゃボトルの作成



子供達も真剣！



水上オートバイの体験試乗

今年度の主な事業・行事実施状況

人命救助訓練

二十七年度は、各海上保安部署のご協力を頂き十四ヶ所の地区が実施した。

訓練の様子をいくつか紹介します。

芦屋地区（官民合同訓練）

十一月十五日（芦屋港にて）



ヘリコプターによるつり上げ救助訓練

読売新聞掲載

芦屋で官民合同 海難救助訓練 若松海保など60人

若松海上保安部をはじめ、芦屋市の芦屋港で官民合同の海難救助訓練を行った。同海保のほか、洞海湾や遠賀地区の海難救助団体などが連携強化のためほぼ毎年実施しており、約60人が参加した。

訓練は、小型船の乗員が海中に転落したとの想定。遠賀郡消防本部の水の上オートバイや地元的小型船安全協会のプレジャーボートが、海上から漂流者を引きあげた。第7管区海上保安本部福岡航空基地のヘリコプターによるつり上げ救助も写真でも披露さ

若松海上保安部をはじめ、芦屋市の芦屋港で官民合同の海難救助訓練を行った。同海保のほか、洞海湾や遠賀地区の海難救助団体などが連携強化のためほぼ毎年実施しており、約60人が参加した。

訓練は、小型船の乗員が海中に転落したとの想定。遠賀郡消防本部の水の上オートバイや地元的小型船安全協会のプレジャーボートが、海上から漂流者を引きあげた。第7管区海上保安本部福岡航空基地のヘリコプターによるつり上げ救助も写真でも披露さ

ジャケットの着用の連絡手段の確保など、緊急動作を徹底してほしい」と話して



水上バイクでの救助訓練

伊万里地区（伊万里消防署との合同訓練）

六月二十一日（イマリンビーチにて）

今年度の主な事業・行事实施状況

人命救助訓練

長崎地区

九月十五日 (長崎サンセットマリナーナ内にて)



もやい銃操法講習 (試射)



もやい銃操法講習
(操法及び諸注意について指導)



小型船の曳航救助訓練



小型船の曳航救助訓練

福岡地区

九月五日 (福岡航空基地にて)



講習室において救助活動の講和



救助隊員による展示訓練



格納庫での航空機等の説明



実習を受ける小安協指導員

今年度の主な事業・行事实施状況

広報活動として

ポスター・マリンセーフティブック作成

七月六日

協会事業の周知宣伝及びプレジャーボート等の小型船の海難防止に資するため、ポスター・マリンセーフティブックを作成配布。

ポスター

今年度、ポスターの写真は、長崎小型船安全協会・佐世保地区小型船安全協会・ひびき灘地区小型船安全協会の海上安全パトロールの写真を提供して頂きました。
ご協力ありがとうございました。

マリンセーフティブック

昨年度同様にマリンセーフティブックの中に基本的事項のチェック等海に出る際に役に立てて頂けるように出航前チェック表・航海記録表を入れ込んでおります。是非活用してください。

また、海上安全指導員の方々が活動する際には是非、活用して頂くようお願いいたします。
(海上安全パトロール・訪船指導等)



十月二十二日 第二回理事会

第二回理事会が北九州市門司区の郵船ビル三階会議室で開催された。

次の議案が審議された。

- (1) 平成二十八年度日本財団に対する助成金の交付申請について
- (2) 海上安全指導員(水上バイク用)ワッペンの作成について
- (3) 議事録署名人について

- (1) は、異議なく承認され、二十三日に日本財団に申請した。
事業総額 五百五十万円
助成金申請 四百四十万円
自己負担額 百十万円

- (2) は、海上安全指導員は、第七管区海上保安本部長の任命なので、本部に確認する必要があるということで再度検討することとなった。

- (3) は、定款三十二条第二項目により、中西代表理事・森監事・中野監事をお願いした。

事務局



二十八年度もポスター・広報誌に使用させていただき写真(データ)を募集しております。

・データ(メール及びCD)・写真でも構いませんが、拡大すると画像が粗くなります。

・審査の結果、採用された方には、謝金をお渡しいたします。

今年度の主な事業・行事实施状況

受託事業 アンケート調査

昨年度に引き続き、公益社団法人 西部海難防止協会から「小型船舶の海難防止のための発航前点検の実態調査」の業務委託を受け今年度は、免許更新講習者四千名を対象にアンケート調査を実施しました。

(株)日本船舶職員養成協会西日本・(一社) 日本海洋レジャー安全・振興協会、(株)ボート免許センター・(株)オーシャン、七管本部安全課の皆様、ご協力ありがとうございました。

データ集計を行っておりますので、調査結果等は情報開示させていただきます。

アンケート配布枚数	4,000
回収枚数	3,872
対象外	1,565
小安協加入者	217
データ入力	2,090



安全講習会受講旗 無償配布

二十七年安全講習会受講旗
配布枚数

一年に一回は、受講しましょう。
受講された会員の方には無償で配布いたします。

1,228枚



今年度の主な事業・行事实施状況

平成二十七年 度

海の日 表彰

北九州市の門司港ホテルで海の日 の表彰が遂行され、海事にご功績があった方々が表彰の榮譽に浴しました。当協会関係では次の方々が受賞されました。誠にめでとうございます。ご健勝と益々のご活躍を祈念します

国土交通大臣表彰受賞者

洞海地区小型船安全協会

岡本 昭吾

指定年数三十年以上で活動回数三百回以上の者に与えられるものです。



海上保安庁長官 表彰受賞者

海上安全指導員

- | | |
|--------------|--------------|
| 陶山 房義 (福岡) | 山崎 良二 (長崎) |
| 花田 清 (山口西部) | 村田 繁美 (山口西部) |
| 片山 勝夫 (みやこ) | 山口富士男 (伊万里湾) |
| 鴛淵 文夫 (平戸地区) | 早田 悠次 (平戸地区) |
| 戸村 茂 (平戸地区) | 西川 一雄 (平戸地区) |

指定年数十五年以上で活動回数百五十回以上の者に与えられるものです。

「海の日」 制定の由来

私たちの国は、四面を海に囲まれた海洋国で、はるか昔から外国からの文化の伝来をはじめ、人の往来や物の輸送、産業、生活などの各分野にわたって、海に深くかかわってきました。

最近では、海洋開発やウォーターフロントの整備、マリンスポーツの普及など海を利用する機会は急速に多様化しています。さらに、地球環境の保全という観点からも、海の役割が重要視され、海洋汚染防止などの必要性が一層高まっています。

このような海の重要性にかんがみ、近年になって国民の祝日「海の日」を設けようと国民運動が大いに盛り上がり、その結果、平成8年から7月20日が国民の祝日「海の日」として制定されました。さらに、平成13年6月、「国民の祝日に関する法律の一部を改正する法律」が成立したことにより、「海の日」は平成15年から7月の第三月曜日となり、三連休化されています。


第七管区海上保安本部長 表彰受賞者

海上安全指導員


- 工藤 和彦 (福岡) 古賀 汎 (佐世保)
- 清川 直樹 (佐世保)

指定年数十年以上で活動回数百以上の者に与えられるものです。

地区小安協活動報告



唐津海上保安部との海上航行安全
「プレジャーボート」周知看板設置作業
「チェック! 発航前点検」
NPO 法人唐津玄海小型船安全協会
事務局長 谷口 洋一



日 時 平成二十七年十月一日(木)
AM十時より

場 所 唐津市二夕子プレジャーボート
係船場「PBS」対岸九電施設
側

参加人員 唐津海上保安部 部長他四名
NPO 法人唐津玄海小型船安全
協会六名
九州電力職員一名 (立会)

この日は、天候も秋晴れに恵まれ少々暑い
位でしたが、参加者全員の共同作業により、
看板の設置作業も順調に進みました。また、
地元ケーブルTV取材もあり、唐津海上保安
部長による、航行の安全に関する説明と看板
取付作業状況の収録も行われ、後日TV放映
をされました。設置された周知看板は、目に
つきやすい場所に設置しておりますので、船
の出入り時には船長及びクルーへの、海の
安全への再認識と心構えを促す重要な役目を
担う事と期待されております。



地区小安協活動報告



子供達も頑張っています！

特定非営利活動法人 伊万里湾小型船安全協会

事務局 坂口 亜紀



新年あけましておめでとうございます。

昨年お理事の皆様方には大変お世話になりました。今年も宜しくお願いいたします。

昨年伊万里小安協では、夏休みに子供達へのシーバード活動(海上清掃活動)と環境学習教室を行いました。

参加者 六百七十七名(大人も含む)

実施回数 十五回

収集したゴミの量 三百九十一kg

八十名の団体の時は、船と海浜に別れてシーバード活動を行いました。あっちこっちにゴミが浮いたり落ちていたり…。

私も乗船させてもらいました、船長さんが子供達へ「海好きやろ」と聞くと「うん！好き」と答え、「自分達が海でも山でも色んな所に行った時、ゴミを捨てたらダメよね、せっかくの遊びが楽しくなくなるけん絶対せんとよ」と話され「ハイ！」と元気な声で返事。「早よー！ゴミをいっぱい取ったら遊ぶぞ！」と船長さんが。

今まで一度も船からシーバード活動に参加したことがなかったけど、色んな話が聞けてよかったです。

ゴミの中でもペットボトルが多く目立ちました。中にはゴミ拾いに飽きて「早よー海に入りたかー」「先生、海に入ってよかろー」って言い出す子供達…。

「ちよっと待っとかんねー！」大声で先生が…。でも、沢山のゴミが集まりました。

みなさん本当にご苦労さん。



さあ！頑張ろう

ボト
缶た
あれ
き取
れた
ペット
がぞ！



シーバード活動の様子



清掃活動も終わり遊ぶ子供達お疲れ様！

遊ぶ時間がやってきました！ バナナボートにバスケット、水上バイク。
子供は元気！ 大人も元気でしたが…。水上バイクの船長さんは、ひっきりなしに行ったり来たりで途中でヘトヘトでした。
最後にシーバード隊員によるレスキューのデモンストレーションを披露し、子供達から沢山の拍手を頂きました。
今日、一緒に体感し得た事は一生の思い出になってくれると思っております。事故もなく無事に終えたことにホッとしています。スタッフの皆様、今年よろしくお願いいたします。

海上安全指導員

地区で活躍する海上安全指導員

海上保安庁では、安全で秩序あるマリナーの発展を図るため、地域におけるマリナーのリーダー的な民間有志の方々を「海上安全指導員」として指定し、プレジャーボート等に対する様々な安全活動を行って頂いております。また、海上安全指導員が使用する船舶を「安全パトロール艇」として指定しております。当協会会員の中から、二百五十八名（平成二十七年九月二日現在）が海上安全指導員に指定され活動しております。

海上安全指導員が、訪船指導を行う際には、「海上安全指導員手帳」を携帯し、「腕章」を着用しており、活動を行う際に用いる安全パトロール艇には、「安全パトロール旗」が掲揚され、「安全パトロール艇ステッカー」が貼付されています。



海上安全指導員手帳



腕章



安全パトロール旗



安全パトロール艇ステッカー



当協会の会員が海上安全指導員に指定された時はマリナーハット・ライフジャケットを貸与しております

訪船指導中の海上安全指導員



安全講習会受講旗を掲げましょう！

安全講習会受講旗は、安全講習会を受講された会員の皆様に無償配布しております。

安全講習会とは、一度受講すればよいというものではありませんので、毎年、新しい情報を入手していただくことが大切という立場に立って、年度ごとに旗の色を変えて配布しております。

安全講習会受講旗を掲げて小型船舶の海難防止及び運航マナーの向上を自ら意識され、会員としての士気を高めて欲しいと思います。

年度を重ねるごとに受講旗の認識も高まって、講習会の参加者も増加しております。

会員以外のプレジャーボート操縦者にも安全思想の普及を目的として、この旗のPRをしていただき、会員のみの特典であることから、会員募集においても活用していただきたいと思います。

28年度安全講習会受講旗
色決定



ヨット・モーターボート総合保険に加入されていますか？
会員になると特典があります。

ヨット・モーターボート
総合保険？



団体割引 5% 適用

主な特色

1. 団体保険のため、通常の個別加入に比べ保険料が大変**割安**です。
2. 第三者に対する賠償を高額に設定しておりますので**安心**です。
3. 郵便振込によるお申し込みなので加入手続きが**簡単**です。

お問い合わせ先
及び取扱代理店

アイム興産株式会社

〒806-0004 北九州市八幡西区黒崎城石3番5号

TEL 093-621-6385

(土曜・日曜・祝日・休業日を除くAM8:30~17:30)

引受保険会社 三井住友海上火災保険株式会社 八幡支社

ひろげよう！安全活動の輪！

あなたも会員になりませんか！

(公社)九州北部小型船安全協会では、プレジャーボート（モーターボート、ヨット、水上オートバイ等）の海難ゼロをめざして、各地区の小型船安全協会と共に海上保安部署の協力を得て現場での安全指導やパトロール、また、大型船との安全面に対する指導及び海難防止講習会等多彩な活動を行っております。仲間に入り、安全なレジャーを楽しみませんか！

入会ご希望の方は九北小安協へご連絡ください。各地区の小安協を紹介させていただきます。

関門地区小型船安全協会
みやこ地区小型船安全協会
宇部小型船安全協会
山口県西部小型船安全協会
洞海地区小型船安全協会
芦屋地区小型船安全協会
福岡地区小型船安全協会
有明海小型船安全協会
唐津小型船安全協会
伊万里湾小型船安全協会
長崎小型船安全協会

対馬小型船安全協会
佐世保地区小型船安全協会
平戸地区小型船安全協会
豊前海小型船舶安全協会
大分地区小型船安全協会
臼杵地区小型船安全協会
津久見地区小型船安全協会
佐伯地区小型船安全協会
長門地区小型船安全協会
萩地区小型船安全協会
ひびき灘地区小型船安全協会



公益社団法人九州北部小型船安全協会

連絡先 〒801-0852 北九州市門司区港町 7-8 郵船ビル 2 階
電話 093-332-3578 FAX 093-332-3579



平成27年度も残りわずかとなりました。会員皆様方及び賛助会員の皆様方のご協力・ご支援には深く感謝いたしております。事務局も女性二人で頑張っておりますので、今後ともよろしくお願いいたします。

